20230924 猪高の森自然観察会　2023 年 9 月報告書

猪高の森自然観察だより　9 月号

開催日時：2023 年 9 月 24 日（日）

天候：晴　　気温：最低 20.9℃、最高 30.3℃（名古屋に於いて）

テーマ:猪高版・秋の七草と棚田の稔り

参加者構成:一般18名(内、小学生1名、NACS-J 会員3名)

コース予定:森の集会所 → 井堀の大クス→ 井堀の下池→ 井堀の谷地田（棚田)→ ハンノキ湿地 → こもれび池 → シダレザクラの里→ 森の集会所

9 月 22 日頃から、やっと朝の空気が少しひんやりとしてきました。でも、昼間の最高気温はまだ 30℃以上あります。地温が下がってくると活動が始まるヒガンバナの開花が、例年より 1 週間ほど遅れたとも言われています。

気温の変化は、動植物の生活サイクルにも大きく影響を与えています。

7 月号で紹介した特定外来生物のアカボシゴマダラにも再び出会いました。

〇秋の花が咲き始めました。（左上の画像はヌスビトハギの実）

ツリガネニンジン
根が朝鮮人参の太い根に似ているとか。

キンミズヒキ
種はとげとげのひっつき虫！

スズメウリ
実の色は白。スイカのような実のなるオキナワスズメウリとは別の仲間です。白い実の味は「メロンみたいな甘味があって美味しい」との評価も・・。

ガガイモ
毛だらけの 5 裂の花、花後には 10 センチ位のいぼいぼの実がなります。熟すると長い綿毛をもつ種を風に飛ばします。
最近はキョウチクトウ科に分類。

ミズヒキ

種は表側は赤いけど裏側は白い色。花（右上の画像）も紅白２色のおめでたい花。

クズ

秋の七草のひとつに数えられる花。増えすぎて困ることもしばしば。外国では困ったつる草。

クサギ

葉はピーナッツクリーム（？）の香り、花は白色の良い香り、実は青とピンクの美しい樹。

シャクチリソバ

白い花びらに赤い雄しべがポイント。若葉は食用にもなる。

ヒヨドリバナ

旅をするチョウのアサギマダラが訪れる花。　名前はヒヨドリの鳴く頃に咲くことに由来する。

カナムグラ

棘のあるつる植物。雄花と雌花（右上の画像）があり、雄花をたたくと、細かい花粉が「パーッ」と散る。

○イモムシと言うけれど・・。

この模様を見てびっくりしました。
誰かのアート作品のようです。
これは「**ホソバシャチホコ**」と呼ばれる蛾の仲間の幼虫（イモムシ）です。ちなみに頭は左側で隠れています。
なぜ、こんな模様になったのでしょうか？

ヤブカラシにいた「ブドウスズメ」

下の２枚はスズメガの幼虫（イモムシ）です。
上が「ブドウスズメ」、下が「コエビガラスズメ」の幼虫と思われます。

「ブドウスズメ」は美しい緑色に白いライン。

ソヨゴにいた「コエビガラスズメ」

「コエビガラスズメ」は赤紫色のラインが入り、足（？）には黒と白の靴下をはいた様。中々のオシャレ（？）なイモムシです。

両種とも警戒姿勢を取っていますが、なぜこんな色合いを持つに至ったのでしょう？
まだまだ、わからないことだらけです。

好き嫌いはおありになるでしょうが、違った方角から見てみるのも一興でしょう。

○「泡に隠れる！？」のはアワフキムシだけの特技ではなかった！

ヨフシハバチの仲間の幼虫が作った泡の塊です。シダの茎に付いていました。アワフキムシの泡よりもきめが細かく、クリーミーな感じです。
春の「アワフキムシ」、秋の「ヨフシハバチ」です。

〇ヌルデノミミフシを見つけました。

ヌルデに作られる虫こぶ：**ヌルデノミミフシ**です。
ヌルデシロアブラムシが作ります。

「五倍子（ごばいし）（ふし）」と呼ばれ、タンニンを多く含むことから、「お歯黒」をする時の黒い染料の原料として利用されてきました。

ゴマ粒のように見えるのがアブラムシたち

左は、割った中身の様子。
たくさんのアブラムシたちがいました。
秋がふかまるに連れてもっと増えるとのことです。秋、ヌルデが葉を落とす頃、翅のあるタイプが飛び出し、コケ植物に移動、それから生まれた幼虫が越冬するとのこと。中々複雑な生活サイクルです。

（お歯黒（おはぐろ）：鉄漿とも書かれ、場所によっては昭和の初期まで行われてきた化粧の一つで、歯を黒く塗ります。虫歯などの予防効果があったとされ、その成分は現代の歯学治療にも利用されています。「鉄漿」は（かね）とも読みます。）

〇キノコの季節でもあります。

この季節は、多くのキノコが見られますが、詳しい同定ができないのが今の状況です。
まずは、紹介のみ。

キクバナイグチと思われるキノコ。
笠だけみるとホットケーキみたい。

並びがぐるっと輪を書くようになれば「フェアリーリング（妖精の輪）」になるのかな？

あちらこちらに生えていました。これは、「シロハツ」の仲間かな？

笠の裏側をみるとイグチの仲間？

これでもキノコ！ベニナギナタタケです。

？

？

キノコは色も形も様々！生活のタイプも①腐生菌　②寄生菌　③菌根菌　の 3 つに分かれるなどいろいろあるとのことです。

ある話によると、日本のキノコ 1 万種の中で名前が付いているのは 3,000 種とのこと。まだまだ未知の部分が多く謎多き生き物です。

キノコによる事故を防ぐには、自分で判断しないこと。様々な言い伝えは全て根拠のないデタラメです、とのことでした。

○虫たちも成虫になり、秋の準備です。

ホタルガ

コバネイナゴ

卵で冬を越す虫、幼虫で冬を越す虫、成虫のままで春を迎える虫、これもまた様々です。

ツチイナゴ

アオマツムシ

セスジツユムシ

○「猪高の秋」と言ったら「稲刈り」でしょうか

ヒガンバナ、今年は少し遅れました

高温と乾燥のため、稲の生育も遅れ気味でした。

次回観察会は 10 月 22 日（日） 森の集会所集合 9：30～です。

名東自然倶楽部の HP では毎月の猪高の森の自然観察会の紹介をしています。http://sizen.ciao.jp/ から是非ご覧になってください。（右上の自然観察グループをクリックしてください。）